

総務委員会会議録（要点筆記）

令和4年1月11日（火）

午前10時00分 開会

○山田清一委員長

ただいまから総務委員会を開会します。議事を行います。

議案第1号「令和3年度半田市一般会計補正予算第10号中当委員会に分割付託された案件」を議題とします。当局の補足説明を求めます。

○大木康敬企画課長

議案第1号、企画課所管分について説明します。まず、歳出からご説明します。議案書10、11ページをお願いします。2款総務費1項総務管理費、6目企画費、マイナポイント事業については、国の補正予算成立を受け、マイナンバーカードの普及促進と消費喚起を目的に実施するものです。現在も実施しているマイナンバーカード新規取得者への5,000円相当のポイント付与の期間継続に加え、新たに健康保険証の登録者と公金受け取り口座の登録者にそれぞれ7,500円相当のポイントを付与するものです。これらの手続きを円滑に進めるための支援体制を整備するものです。支援体制の整備は公金受け取り口座登録開始予定である本年3月から会計年度任用職員2名配置にかかる報酬、共済費、旅費、その他受付用パソコン7台のリース料とWi-Fiの通信料です。なお、令和4年4月以降につきましては、国の補助金申請の関係上改めて令和4年度予算で計上する予定です。次に歳入についてご説明します。議案書の8、9ページをお願いします。15款国庫支出金2項国庫補助金1目総務費国庫補助金1節総務管理費補助金のマイナポイント事業費補助金56万9千円は、先ほどご説明しました、マイナポイント事業にかかる経費について、全額国庫補助金で充当するものです。

○山田清一委員長

補足説明は終わりました。ただ今から質疑を行います。ご質疑ありませんか。

○伊藤正興委員

（説明により）事業内容は理解しました。3項目（①新規登録②保険証登③公金口座登録）それぞれの目標値（人数）を教えてください。

○大木康敬企画課長

まず、①の新規登録者への5,000円のポイント付与は既の実施しているものの期間を延長するものです。②は保険証の登録手続きは可能でありましたが、新たにポイントを付与することとなったものです。③の公金口座登録者へのポイント付与は新規の取組みです。①の昨年度からの実績から判断し、今回手続き件数を25,000件と想定しています。新型コロナウイルス感染症のこともあり、こういったポイントが付与されることを市民に周知していく中で、多くの方に手続きをしていただきたいという思いがあります。ただし、全ての方が窓口で手続きをされるわけではなく、ご自身で、スマートフォン等からされる方もいらっしゃる中で、高齢の方を中心に約25,000件を想定して今回の予算を計上しています。

○伊藤正興委員

25,000件を見込んだ期間はどのようですか。

○大木康敬企画課長

令和4年度末までです。

○伊藤正興委員

現時点ではどれぐらいの方が手続きをされていますか。

○大木康敬企画課長

(マイナンバーカードの) 交付件数が約 60,000 件です。(25,000 件には) この中からも新たに口座の登録手続きをされる方も含まれます。

○伊藤正興委員

カードをお持ちの方で、追加で口座登録等を手続きされた方も 25,000 件に含まれるということで、交付済の 60,000 人に 25,000 人がプラスされて 85,000 人になるわけではないということですね。

○大木康敬企画課長

はい。その通りです。

○伊藤正興委員

手続き用端末を 7 台、市民課に設置するのに合わせて支援のための会計年度任用職員を配置することですが、その人員は入力支援のみを行うのか、その付近を通られる方にお声かけやチラシの配付など手続きを促すようなことも併せてやられるのか、どのように考えていますか。

○大木康敬企画課長

来年度の予算になりますが、PR 用のチラシを全戸配付する予定です。会計年度任用職員 2 名につきましては、自分でスマートフォンから手続きできない方が市役所の窓口で相談、あるいは手続きに来られた際にサポートする人員と考えています。配置場所は 1 階のロビー又は市民課のカウンターを予定しています。市民課ではマイナンバー交付にかかるスタッフも配置していますので、連携を図って、市民の皆さんの待ち時間の低減し、手続きが完了するように努めていきます。

○伊藤正興委員

支援をするだけの人員なのか、目の前を通った方に「今こういうことをやっていますので、いかがですか」と併せてプロモーションもやることを考えているのか、をお聞きしています。目の前をターゲットとなるような人が通っても、(声もかけず) 通過させてしまうだけで終わるのはもったいないと思います。お声掛けくらいを併せてやった方が効率的、効果的ではないかと思ってお聞きしていますが、いかがでしょうか。

○大木康敬企画課長

PR が重要であると認識していますので、そのあたりも含めて、実際スタートしてみて、状況を判断しながら、市民課と相談し来庁された方への PR、支援も併せて行っていきたいと思っています。

○鈴木健一委員

伊藤議員の質疑に関連しますが、市として、今回のこの事業でどれぐらい増やしたい、何%にしたいという目標はありますか。

○大木康敬企画課長

具体的な明確な目標は定めていません。先ほど伊藤議員からも質問がありましたが、私共としては、25,000 件くらいの手続き件数を想定し予算を計上しています。この予算そのものは(市として) 予算計上しなくても国の制度として、進んでいくものではあります。今回の予算はあくまで、ご自身での手続きが困

難な市民の皆さんをサポートしていくというものですのでご理解をお願いしたいと思います。

○渡邊昭司委員

「公金受け取り口座」の「公金」とは何の公金ですか。

○大木康敬企画課長

現在法律で定められているものは、コロナなどの臨時給付金、児童手当、年金、税の還付金などです。ただ、この紐づけがこれから始まるということですので、具体的な手続き、振込の方法などは示されていない状況です。

○渡邊昭司委員

来年度、国から事業費等が交付決定される頃には示されるであろう、ということでしょうか。

○大木康敬企画課長

はい。これもまだ、国から地方自治体に示されてはいませんが、今回、口座の紐づけを行います。恐らく紐づけの数、割合によっても事務が効率化になるかどうか等も出てくるかと思しますので、国の方はまず自治体から振り込むものを手続きなく、あるいは通帳のコピー等を添付せずに済むと言う、市民の利便性を図るということで市民一口座の登録を促進していますので、今後、いずれも手続きがこういった形で進んでいくものと考えています。

○山田清一委員長

他にご質疑ありませんか。

【 「なし」との声あり 】

ないようですので、これで質疑を終わります。お諮りします。ただ今から討論を省略して、採決に入ります。これにご異議ありませんか。

【 「異議なし」との声あり 】

ご異議なしと認めます。ただ今から採決を行います。本案は、原案のとおり決定することに賛成の委員の挙手をお願いします。

【 賛成者挙手 】（委員 7 名中、挙手 6 名）

挙手多数です。よって、議案第 1 号「令和 3 年度半田市一般会計補正予算第 1 0 号中、当委員会に分割付託された案件について」は、原案のとおり可決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案は、審査を終了しました。なお、委員長報告は、正副委員長にご一任いただきたいと考えますが、よろしいでしょうか。

【 「はい」との声あり 】

ありがとうございました。

それでは、ほかに何かありましたらお願いします。

【 「なし」との声あり 】

ないようですので、本日の委員会はこれにて閉会いたします。

午前 10 時 15 分 閉会